

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	交通政策課
	施策	離島の振興		電話番号	087-839-2138
	基本事業	航路の確保及び利便性向上		事業実施主体	市
	事務事業	離島航路振興事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	女木島及び男木島に観光客を呼び込み定着させ、ひいては、航路の活性化を図るため、世界に向けた瀬戸内の魅力の発信、交流人口の増加、地域振興・活性化に向けた取組などを行う。 ・瀬戸内国際芸術祭の開催期間に合わせた旅客運賃の低減 ・最終便の増便 ・男木～高松航路改善計画の策定・実施		
30年度概要	女木・男木島航路に係る利用促進策 離島航路確保維持改善協議会の開催		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	女木・男木島航路利用者
意図(どのような状態にしたいか)	航路の利用増進による活性化に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
施策の実施回数	回		0	0	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
成果指標	女木・男木島航路利用者比率(基準年:平成21年度)	%	目標値		183.21	131.27	135.18	135.18
			実績値		185.88	122.28		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 平成29年度の女木・男木島航路利用者は218,961.5人であり、21年度の利用者179,063.5人(小人は0.5人で換算)と比べて約1.22倍となっている。目標値には及ばなかったが、少しずつ利用者は増加してきている。 (目標達成度)							(達成度) 93.2% 32点
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
			実績値					
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	14,294	18,265	18,194	18,002
(事業費)	[円]	4,314	8,059	8,331	8,139
(職員人件費)	[円]	9,980	10,206	9,863	9,863

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

瀬戸内国際芸術祭2016の翌年ということもあり、前年度より利用者は減少したが、離島航路の利用促進は、住民の移動手段の確保にとどまらず、航路の活性化により「離島振興」及び「地域間交流の推進」に資する事業を継続することが適当である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

離島航路の利用促進施策に向けた交流促進施策を検討する。